

開設講習名	【選択】図画工作科、これをして、あれをやめれば、もっと楽しくなる		講師	吉田 貴富	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 8 月 24 日		時間数	6 時間	受講予定人数 40 人
受講者募集期間	平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日		履修認定時期	平成 29 年 9 月 30 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

#### 【到達目標】

小学校図画工作科について、制度や近年の動向に関して理解を深め、自己の実践の振り返りに生かすことができる。特に「絵に表す」以外の活動の重要性を再認識し、とりわけ鑑賞の必要性について理解を深め、吉田貴富が提唱する「鑑賞指導能力向上のための 5 Steps」を理解し実践の基礎を身につける。

#### 【講習の概要】

画工作科が児童にとっても教師にとってもより楽しくなるように、図画工作科がより充実するように、近年の動向を踏まえて吉田流提案を行う。主に「対話型鑑賞」に時間をかける予定である。

1. これをやってみませんか
  - ①鑑賞学習（特に対話型鑑賞） ②立体 ③工作 ④造形遊び ⑤美術史・美術理論の初歩
  - ⑥アルチザンの教育としての図工 ⑦協同的な学び
2. これをやめてみませんか
  - ①作らせっぱなし図工 ②コンクール出品 ③リレー指名 ④相互評価 ⑤マニュアル化された図工
3. 鑑賞指導能力向上のための 5 Steps (by 吉田貴富)
  - Step 1: 一方的解説型鑑賞指導
  - Step 2: 発問活用型鑑賞指導
  - Step 3: 対話的ギャラリートーク型鑑賞指導
  - Step 4: 自由型鑑賞指導
  - Step 5: 表現（制作）との組み合わせ型鑑賞指導
4. Step 3: 対話的ギャラリートーク型鑑賞指導（いわゆる対話型鑑賞）
  - (1) 鑑賞能力の発達段階 ハウゼンの説、パーソンズの説
  - (2) VTS (Visual Thinking Strategies)
  - (3) 対話型ギャラリートーク アメリカ・アレナスに学ぶ（ビデオ視聴）
  - (4) 学校教育への応用 小学生を対象とした実践例（ビデオ視聴）
  - (5) 美術作品の対話型鑑賞の教材としての適性・条件 フィリップ・ヤノウィン、アメリカ・アレナス、吉田貴富
  - (6) VTSの教材に学ぶ アメリカで使用されている教材を見てみましょう

#### 【評価の方法・評価基準】

評価の方法：筆記試験

評価基準：講義の内容を理解し、それを基に自己の実践を相対化して振り返ることができる。

鑑賞学習の必要性と指導方法を理解する。

#### 【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配付予定。

#### 【受講者への伝達事項】

これまでの図画工作科実践を振り返る機会・土台にいただければ幸いです。「鑑賞学習をもっとした方がいいとは思っているのだが・・・」「鑑賞学習って、どのように指導したらいいのかわからない」「対話型鑑賞って、聞いたことはあるけれど、詳しくは知らない」「リレー指名や相互評価やコンクール出品を疑わずにやっている」「『誰でもできる図画工作科の指導』の類のマニュアルで授業をしている」「吉田貴富の講義や講習を受けたことが無い」といった方々に向いていると思います。

他校種(小学校以外)の方の受講は構いませんが、他校種向けの配慮やアレンジはしませんのでご了承ください。